JAC北九だより

No.92（2020年 第2号）

公益社団法人　日本山岳会　北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発　行：公益社団法人　日本山岳会北九州支部
支部長　日 向　祥 剛
事務局：糟屋郡篠栗町尾仲50-17
榊　俊 一　方
TEL/FAX自宅　092-947-3208
携帯 090-8416-4194
編集人：事務局　花 田　拓 二
印　刷：山口県山口市水の上町2-25
内 藤 製 本 所

令和2年4月18日（土）　毎日西部会館 ５階 会議室

第21回 通常総会開催（お知らせ）

令和を迎えて最初の総会となります。第21回通常総会を下記にて開催いたします。今年は、当北九州支部にとって創立20周年記念の年となります。当支部もこれから先を目指し、先輩たちが築いたものに、若い会員の方々の力を得て、充実、発展するよう願っています。

現在、新型コロナウイルスが流行っています。総会内容を自粛、講演会を取りやめました.今後の北九州支部の運営・発展を考え、レベルアップを目指すためにも、広く皆様のご意見を賜りたく思っています。

また、北九州支部創立20周年を記念して特別山行を計画いたしております。ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

記

● 総会について

1 と　き　令和２年４月１８日(土)
2 ところ　株式会社毎日ビルディング西部支社7階
（毎日西部会館５階会議室F)
住所　北九州市小倉北区紺屋町13-1
電話　093-541-3031
3 受　付　14時30分から
4 総　会　15時～16時45分
5 懇親会　17時より コール天(小倉北区魚町1-2-23)
(新型コロナウイルスにより希望者のみで実施)
6 締切り　出欠は、同封のハガキで4月10日(金)までに必着のこと。
7 問合せ　事務局 榊 俊 一 自宅 092-947-3208、
携帯 090-8416-4194
三宅明子 自宅 0948-24-7530
携帯 090-1510-1311

日本山岳会 北九州支部

創立20周年記念・特別山行（海外・国内）計画

海外担当 三宅明子　・　国内担当 塚本久嘉

● 海外山行台湾「玉山」

1 山行日時　令和2年11月14日（土）～11月17日（火）
3泊4日
※　玉山（台湾最高峰）3952㍍は入山規制があるため、 登山希望者が多い場合は抽選になります。
そのため、出発日が変更になる場合がありますのでご了承ください。
2 費　　用　約20万円～22万円
3 募集人員　15人
4 受付開始　日時　令和2年4月18日（土）
※ 支部総会開催日から先着順に受付します。
抽選に当選後のキャンセルは、キャンセル料がかかる場合がありますのでご了承ください。
5 受付方法　パスポートのコピー（顔写真の載っているページ）と、旅行代金の一部（5万円）を担当者にお渡しください。
6 参加資格　①夏の富士山に登ることができる体力のある会員
②山行までに行うミーティングに参加できる会員

※ ミーティングでは、山行での役割分担や、最終日の観光および、出入国関係書類の記入方法等を説明します。

7 担 当 者　三宅明子　090-1510-1311

8 締め切り　６月３０日（火）

9 そ の 他　支部総会以降に申し込みを希望する方は、担当者までご連絡ください。

● 国内山行 「槍ヶ岳」集中登山

1 内　　容　北九州支部創立20周年を記念し、表銀座（中房温泉）、裏銀座（高瀬ダム）、新穂高、折立の4コースから槍ヶ岳を目指し、登山最終日に槍ヶ岳山荘で合流します。この4コース以外に、登山をしない方には、観光コースもあります。翌日，上高地へ下山して全員で祝賀会の予定

2 期　　日　8月20日（木）～27日（木）

3 集　　合　小倉駅、門司駅、新門司フェリー乗り場の予定

4 登山コースおよび日程

①表銀座コース

8月20日新門司フェリー→21日（乗鞍高原泊）→22日乗鞍登山→（中房温泉泊）→燕岳→（大天井ヒュッテ泊）→24日槍ヶ岳(槍が岳山荘泊)→25日上高地（山研泊）→26日神戸フェリー→27日新門司着

② 裏銀座コース

8月20日新門司フェリー→21日（七倉山荘泊）⇒22日（野口五郎小屋泊）→23日 野口五郎岳→水晶岳→鷲羽岳→(三俣山荘泊)→24日三俣蓮華岳→双六岳→槍ヶ岳(槍ヶ岳山荘泊)→25日上高地(山研泊)→26日神戸フェリー→27日新門司着

③ 新穂高コース

8月20日新門司フェリー→21日（乗鞍高原泊）→22日乗鞍登→（新穂高温泉泊） 23日右俣林道→(槍平小屋泊)→槍ヶ岳(槍ヶ岳山荘泊)→25日上高地（山研泊）→26日神戸フェリー→27日新門司着

※ 新穂高コースは参加メンバーによってコース変更があります)

④ 折立コース

8月20日移動日→(富山泊)→21日折立→（太郎平小屋泊)→22日北ノ俣岳→黒部五 郎岳→(黒部五郎小屋泊)→23日三俣蓮華岳→鷲羽岳→(三俣山荘泊)24日双六岳→槍ヶ岳(槍ヶ岳山荘泊)→25日上高地（山研泊）→26日移動日

⑤ 観光コース

8月20日新門司フェリー→21日（乗鞍高原泊）→22日乗鞍登山→(西穂山荘泊)周辺トレッキング→23日観光（泊地未定）→24日観光（泊地未定）→25日上高地（山研泊）→26日神戸フェリー→27日 新門司着

5 乗物（バス）

①表銀座　②裏銀座　③新穂高及び④折立

⑤観光コースはマイクロバスを使用します。

6 装　　備　小屋泊登山装備(参加者には個別にコースリーダーより指示があります)

7 定　　員　各コース5人～6人

8 経　　費　約39,000円＋宿泊代

(観光コースおよび折立コースは移動手段によって変わります)

9 申込み及び問合せ先

塚本久嘉 090-7475-6084

申込みはホームページおよびＳＭＳで申し込む。

10 申込み期間　5月7日（木）18時～6月20日（土）18時

※　各コース先着順

11 キャンセル料 締め切り後のキャンセルは10,000円を徴収します。

※ 上高地下山後に、日本山岳会「山研」にて、簡単な祝賀会を予定しています。

日程 コース	8月20日 (木)	8月21日 (金)	8月22日 (土)	8月23日 (日)	8月24日 (月)	8月25日 (火)	8月26日 (水)	8月27日 (木)
表銀座	フェリー	乗鞍岳	中房温泉	大天井岳	槍ヶ岳	上高地	フェリー	新門司着
裏銀座	フェリー	高瀬ダム	野口五郎	三俣山荘	槍ヶ岳	上高地	フェリー	新門司着
新穂高	フェリー	乗鞍岳	新穂高泊	槍平	槍ヶ岳	上高地	フェリー	新門司着
折　立	移動日 (富山泊)	太郎平 小屋泊	黒部五郎岳	三俣山荘	槍ヶ岳	上高地	移動日 夜小倉着	
観　光	フェリー	乗鞍岳	西穂山荘	観光	観光	上高地	フェリー	新門司着
フェリー	17時30分 新門司発	6時00分 大阪南港					18時30分 神戸発	7時00分 新門司着

八面山荘　忘年の集い・忘年登山　14523　榊　俊一

令和元年12月14日～15日

令和最初の忘年の集い

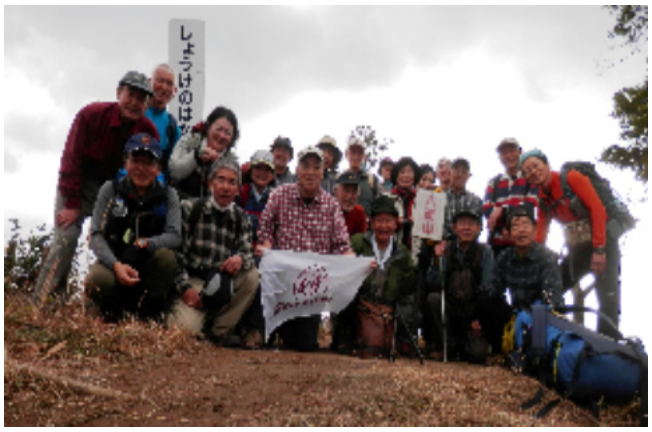
15834　小林　英世

忘年の集い　（写真：榊俊一）

12月14日

忘年登山は八面山へ（659メートル）

14689　大内　喜代子



忘年登山 八面山　（写真：榊俊一）

今年も忘年登山と集いを同時期に行った。前総務委員長、現榊事務局長の発案で、中津市にある八面山荘を借り切りの形での開催となった。参加者２７人。八面山の中腹にあり、眺望や夜景が素晴らしい。また、人里離れているので、静かで、星もきれいに見える。

日向支部長の「来年ももっと山を楽しもう」の挨拶で開宴。一週間前あたりに、山荘から連絡があり、料理長が急に入院したと聞いており、どうなることかと心配していたが、女性スタッフが作る料理もなかなかのもので、お値段からすると大サービスと思われる豪華なメニューで、お酒の持ち込みもしっかりあり、豊かな宴会となった。途中で、3人の方に、今年の山行を振り返ってもらった。マイクがないこともあって、ざわつきで聞こえにくいところもあったが、それぞれ充実した一年を過ごされたようだ。さらに、新入会員を含めた支部友お二人に、来年の山行への抱負を述べてもらった。それらがクライマックスの予定であったが、一次会の最後にオークションを行ったら、そこがクライマックスになった。お酒が入って、盛り上がったところで、景気良くお買い上げをいただき、3万円を大きく超える収入となった。感謝感謝である。

その後、男子宿泊部屋にて、二次会、ロの字型に囲ったテーブルの中にマスターが二人も入られて、おすすめ上手で大いに盛り上がった。最後は、数人の喉で締めて、10時消灯の予定であったが、三次会を開くグループがいて、持ち込みのお酒を消化してもらった。

翌朝、朝食後解散。後から、感謝のメールを数通いただいた。ただ、昭和の色濃い「集い」を改名することを検討していい時期ではないかと思った。

コースタイム

八面山荘9：50→箭山権現石舞台10：07/10：13金色渓谷入口10:20→一の滝10:45/10:50→鳴子台11:0→和与石11:40/11:50→大池（昼食）12:10/12:40→鉄塔（車道終点）12:00→八面山13:35/13:45→箭山神社14:25→登山口　15:25⇒八面山荘15:35

中津市にある八面山は九重山系登山の度に、車中から眺められる親しみのある山です。過去、私は脳梗塞のために右半身マヒのハンディーを背負った主人と共に山頂を踏みました。それは九合目まで車で行くことが出来たからでした。ぐるりと回って小池から元の車まで約4時間を要しました。

今回の計画は金色渓谷コースとあり大変興味をもって参加しました。まず登山口手前にある箭山権現石舞台の歴史を学び、車道を10分歩き渓谷コース登山口に着く。歩き始めて５カ所ある滝の1カ所を眺めるも１２月は雨も少なく滝の水量も少なく、その分足元のコケで覆われたゴロゴロ岩は乾いてまことに歩きやすく5カ所の滝を左右に位置取りしながら自然の景色を楽しむ。途中からＢコースグループと合流。和与石の巨石を過ぎ八面山大池に到着。ここで昼食タイム。食後はいきなり急峻な木道階段に息を弾ませて上がると落ち葉で

いっぱいの森の中。紅葉が終わって葉を落とした裸の木々は冬空を広く見せてくれる。鉄塔の先は九合目の道路でした。ここからは本来の山頂をめざした。山頂前からは由布岳、鶴見岳が望める絶景ポイント。八面山三角点の前で全員で記念写真をパチリ。下りでは箭山神社参拝と境内から見下ろす中津の街並みの景色を眺め

たり、バリエーションに富んだ山歩きを楽しみました。下山は１５時３０分でほぼ計画通りのコースタイムでした。お世話下さった方々ありがとうございました。

参加者：２７人　会員：園川陽造　日向祥剛　板倉健一
＊馬場基介　三宅清和　高畠拓生　関口興洋　丹下洽
大木康子　＊榊俊一　丹下香代子　大内喜代子
竹本正幸　竹本加代子　＊赤瀬榮吉　縄手修　大谷恵美子
＊三浦利夫　清家幸三　小林英世　三宅明子　花田拓二
準会員　：　藤原玲子　太郎良嘉親
支部友　：　網塚陽子　宇都宮浩　小畑止　＊交流会のみ

暖冬の臥龍山　北九州支部・広島支部　交流会

２月１５日(土)～１６日(日)　支部交流会（広島支部）
和やかな山荘での一夜、雨の散策
15318　縄田　正芳

斎山荘にて合同記念写真撮影　（写真：竹本正幸）

コースタイム
15日　斎山荘15：00→臥龍山登山口駐車場15：15→山頂
　　15：40→駐車場16：20（車）→斎山荘16：35
16日　斎山荘10：00→八幡湿原散策→斎山荘11：45

今年度で9回目を数える広島支部との交流会は北広島町八幡（やわた）　高原の斎山荘にて北九州支部からは１７人、広島支部１２人、そして講話をして下さる先生も加えて30人の大人数で開催されました。当初の予定では１５日は夕食での懇親会、その中で先生より講話を聞き、翌１６日はスノーハイクおよび雪の臥龍山登山の予定でした。例年ではこの時期は最も積雪の多いところで1㍍近くも積もることもあるとのことでしたが残念ながらこのところの異常な暖冬により全く雪のない状態でした。雪を楽しみにして来た北九州支部の面々にとっては大変残念なことでした。また天気予報によれば今晩から明16, 17日と大荒れの天気になるということでしたので山荘に到着早々でしたが急遽当初の予定を変更して今日中に臥龍山だけは登っておこうと、すでに１５時と遅い時間でしたが広島支部の方の案内で山へ向かいました。1, 000㍍余りのところまでは車で行きそこからは林道と山歩きです。さすがにこのあたりからは雪が残っており、葉を落としたブ やナラなどに囲まれた冬らしい山道を楽しむことができました。臥龍山（１２23㍍）は山頂に大きな岩のある一等三角点の山です。そこからは冬枯れの木々の間よりなだらかでゆったりとした山容をもつ西中国の山々を眺めることができました。

下山時に駐車場近くにある名水と言われ、指を切るように冷たい雪霊水でのどをうるおしました。車で入れる時期になると遠く広島市内からも大勢の人たちが水を汲みに来るという有名な水だそうです。

18時よりいよいよ懇親会。廿日市の海で獲れたばかりの大きくプリプリとした牡蠣の鍋に豚しゃぶ、おもちなどの大変なご馳走でのもてなしでした。ビールでの乾杯に始まり広島の地酒に焼酎、ワイン、自家製の果実酒などで飲めや食えや歌え、そして踊れやの大宴会に発展しました。あまりの盛り上がりに７時からの講話の予定も吹っ飛んでしまい明朝へと変更になるほどでした。賑やかな懇親会の宴は明日の山行の中止のこともあり１１時ごろまで続きました。

１６日はやはり天気予報どおりの本格的な雨。朝食後講師の上野吉雄先生（西中国山地自然史研究会・農学博士）より八幡高原に生息する鳥たちの話がパワーポイントにより分かり易く説明がありました。山荘の傍らに巣づく色鮮やかなブッポウソウのつがいの生態やその気味悪い鳴き声について、そしてホトトギス、ジュウイチなど他の巣に卵を産み付け

上野先生の説明に耳を傾ける　（写真：竹本正幸）

生育させるなど、鳥のたいへん興味深い生態の話などがありました。また、今ある風力発電施設や新たに建設が計画されている施設の自然環境へ及ぼす影響、それらによるクマタカなどの鳥たちへの影響についてたいへん危惧されているとのことでした。講話終了後、雨の中でしたが先生の案内で広島支部の方々と共に山荘周辺の八幡湿原の散策へ出かけました。あいにくの雨で鳥たちの姿はあまり見かけませんでしたが自然災害や環境変化で失われてゆく湿原の保全の為に雑木の伐採など支部の方々の自然保護活動への取り組みについて現地で話を聞くことが出来ました。益々激しくなる雨の中散策を終え山荘に帰り広島支部女性会員の方々の心づくしの昼食をいただき、しばし歓談のち交流会は終了となりました。

大人数を受け入れてくださり、大変な準備をなされた広島支部の方々、また快適な山荘を提供してくださいました斎支部長そして講話のためわざわざ参加くださいました上野先生に感謝申し上げます。

臥龍山山頂で合同記念撮影　（写真：榊俊一）

交流会参加者

参加者（北九州支部）17人　会員：原広美　井上禮子
榊俊一　大内喜代子　竹本正幸　竹本加代子
赤瀬榮吉　縄田正芳　縄手修　塚本久嘉　奥田スマ子
町元里香（CL　）小林英世　中畑智子
三宅明子　　準会員：藤原玲子　　支部友：安達美保

参加者（広島支部）氏名順不同講師含む 13人
上野吉雄（講師）　斎陽（広島支部長）　山内充人
近藤道明　落合和夫　寺西洋子　坂原忍　横井邦子
浅尾幸枝　長谷川操子　宮石惇　宴席利恵子　澤江学

＜月例山行＞報告

1月５日　新春登山 英彦山
初めてのコースリーダー

北九494　和 田 敦 子

英彦山中岳山頂　（写真：竹本加代子）

コースタイム

別所駐車場8：30→衣服調整8：45/8：48→豊前坊9：30→高住神社9：36→水分補給10：00/10：02→分岐10：25→北岳10：43→中岳山頂11：15/11：50＜昼食＞奉幣殿13：07→別所駐車場13：23

1月５日英彦山登山。天気も良く、歩きやすい登山となった。別所駐車場より歩いて豊前坊登山口に向かう。高住神社では新年の振る舞いとして、甘酒やホットカルピスが置いており、天気は良いが冷たい空気にその暖かさが沁み渡った。

登山口から北岳へ登る。歩いていると歩き慣れた道だが、はじめての先頭となると緊張した。声かけや、2番目に歩く人の気配や足音を感じる事を教えていただき、先頭を歩くということはいろんなことや人に配慮すること、思いやることが大切なんだと思った。一人で登っているのでは無い、みんなで登っているのだから、まだまだ自分は経験不足だなと、感じたがいろんな事を教えてくれる先輩たちは本当に貴重な存在だとも思った。ありがたい。いろんな経験のできた登山だった。

2020年初登山が英彦山、天気も良いし、楽しい登山となった。

参加者10人　会員：竹本正幸　竹本加代子
奥田スマ子　塚本久嘉　小林英世　中畑智子
準会員：太郎良嘉親
支部友：和田敦子（CL）

1月26日

立石山と糸島カキ満喫登山

16186　三宅　明子

立石山山頂　（写真：榊俊一）

コースタイム
芥屋バス停（10：15）→登山口（10：25）→山頂（11：20）→下山開始（11：45）→登山口（12：00）

いつもは博多サロンに参加しているメンバーで行っていたこの登山。今回は月例山行で行くことになった。前日見た天気予報は雨で心配していたが、当日は曇りだった。博多駅から地下鉄で筑前前原駅へ。この頃には晴れ間も見えてきた。全員集合し、コンビニでアルコールを購入しバスで芥屋へ向かう。日曜だったので、バス車内は牡蠣小屋に行く人達が多かった。

バス停からは海岸線に沿って歩き、登山口へ向かう。登山口からは榊サブリーダーの案内で歩いた。ヤマツバキやシダ植物を見ながら登っていく。途中、振り返ると海も良く見え、参加者からは歓声も上がった。登り始めて約1時間。山頂に到着した。山頂付近には暖冬の影響か、つつじが咲いていた。到着後、記念写真を撮り、下山。下山は登りとは別のルートを下ったが、新しいロープが設置されており、きちんと整備されていた。15分程で下山し、いよいよ牡蠣小屋へ。今回も例年同様、岐志の牡蠣小屋に行った。牡蠣小屋は予約していたが大賑わいで、20分ほど待つことになった。ここではブランド牡蠣に指定された『糸島カキ』をはじめ、ホタテやイカ等のバーベキューを楽しんだ。カキにはお酒をかけたり、チーズやもみじおろしをトッピングしたり、各自思い思いに楽しんでいた。その後、岐志バス停から筑前前原駅までバス、その後地下鉄で博多へ戻って一旦解散した。

立石山は低山ながらアップダウンもあり、展望も良く参加者にも大変好評だった。また、牡蠣小屋では皆さんと親睦を深めることができ、山も牡蠣も満喫した1日となった。案内してくださった榊サブリーダーをはじめ、参加者の皆様ありがとうございました。

立石山中腹から玄海灘　（写真：榊俊一）

参加者12人 会員：関口興洋　山田武史　榊俊一
大内喜代子　竹本正幸　竹本加代子　赤瀬栄吉
三浦利夫　町元里香　三宅明子（CL）　花田拓二
準会員：太郎良嘉親

牡蠣小屋　（写真：花田拓二）

２月２３日（日）　＜三俣山＞

サクサクの霜柱に大喜び

１５７１０　町元　里香

コースタイム
大曲登山口９：００→スガモリ越え１０：０５→三俣山西峰１０：５５→本峰１１：２５→南峰１１：５５（昼食３０分）→Ⅳ峰１２：３５→スガモリ越え１３：３０分→大曲登山口１４：２５

待ちに待った雪山登山。天気予報では快晴だが１５００㍍付近では風速１１m/ｓの予想。頂上まで登る事ができるのか心配だった。大曲登山口で竹本リーダーから、冬山は低体温症になる危険があるため汗をかかないように歩くこと、事前に必ず天気図を予測すること、いつもの

霜柱サクサクの三俣山本峰　（写真：清家幸三）

装備に保温着（帽子、手袋を含む）やツエルトを加えること、などの指導を受け、午前9時に出発。

雪はまったくない。しかし足元には１０㌢位はある霜柱だらけ。足で倒すとフワフワした美味しそうなカキ氷雪はまったくない。しかし足元には１０㌢位はある霜柱だらけ。足で倒すとフワフワした美味しそうなカキ氷の出来上がり。踏んでみるとサクサク、感触の良い音が響く。みんな童心にかえって大喜びだ。

スガモリ越えから見上げた青空と三俣山は最高だった。九重連山は玄界灘からの風の影響を受けるため、北西の風に注意するようにリーダーから教えてもらった。北西方向の空には雲はほとんどない。天気の崩れは心配なし。西峰の手前の稜線との分岐点で、地図をみながら現在地を確認したり、コンパスを使って目標の山を確かめながら歩く方法など地図読みの指導を受けた。

午前１０時55分西峰に到着。小休憩を取り本峰に出発。午前１１時25分、本峰に到着。北東には双耳峰の由布岳、北北西には涌蓋山、南西を向くと天狗ヶ城と中岳の間に堂々と阿蘇根子岳が見えた。遥か南には祖母山と傾山が続く。３６０度のパノラマにうっとりしてしまう。南峰に向かう登山道は少し凍っていて、滑りやすい所を注意して歩く。

午前１１時５5分に南峰に到着。登山道が沢山あるため、先ずは下山口を確かめた後、昼食を摂る。風はほとんどなく暖かい。Ⅳ峰を経由して下山。行きがけ楽しませてくれた霜柱も溶けてしまい、ヌルヌルと滑る歩きにくい登山道に変わってしまっていた。滑らないように用心しながら歩き、大曲登山口に下山。みんなの靴は黒土でドロドロ状態だった。竹本加代子さんが自宅から皆が靴を洗えるように水を入れたペットボトルを全員分、水が少しずつ出出るように穴を開けた替蓋まで用意してくれていた。その気配りに本当に感激した。

暖冬のため雪山登山にはならなかったけれど、雪山に登るための知識や、初めて出会ったサクサクの霜柱、晴天に恵まれて素晴らしい景色を見ることができたこと、そして加代子さんの気配り。すべてが素晴らしい経験になった。本当に有難うございました。

(追伸)

解散後、３号車（縄手号）の同乗者は長者原の温泉でサッと汗を流して帰った。さっぱりとし、ポカポカな体で家路を急ぐ。１５㌔位走ったところで、助手席に座っていたMさんの左手首に鍵付きの黄色いブレスレットを発見。温泉の貴重品ロッカーのカギだった(笑)。大事な財布を置いて帰れない（泣）ので、Ｕターン。忘れ物は無事Mさんのもとに返りました。

参加者　１１人　会員：竹本正幸（ＣＬ）　竹本加代子
縄手修　森義雄　町元里香　清家幸三（ＳＬ）
中畑智子　松本重裕　　準会員：太郎良嘉親
支部友：網塚陽子　　宇都宮浩

ポレポレ会・山行

１月９日

初詣登山　御許山・雲ケ岳

A0172　太郎良 嘉親

許斐山の大元神社　前で　（写真：伊藤久次郎）

2020.1.9　宇佐にある御許山647㍍と雲ヶ岳654㍍へ。ポレポレに初参加の園川先生を始めとして総勢18人が、御許山登山口より登る。

御許山には、宇佐神宮の奥宮大元神社が9合目にあり、そこから先頂上までは禁足地となっているとの事。大元神社には、比売大神（ひめ おおかみ）と呼ばれる3女神が祀られているらしい。お参り後、次の雲ヶ岳へ向かう。山頂より少し下った展望所から由布岳が見える。　下山後、「かくまさ」にておいしい昼食を頂く。だんご汁が美味しかったです。

宇佐神宮参拝。神宮の壁にある空間から御許山や雲ヶ岳が見えたのが印象的でした。

お天気も良くて楽しい山行でした。

一等三角点がある雲ケ岳　（写真：　伊藤久次郎）

参加者18人　会員：園川陽造　原広美　伊藤久次郎
井上禮子（CL）　高畠拓生　丹下恰　丹下香代子
大内喜代子　縄田正芳　奥田スマ子　町元里香
準会員：藤原玲子　太郎良嘉親
支部友：立石シマ子 宇都宮美智子 里耕三郎(CL)
田中眞一　田中優子

雲ケ岳　（写真：伊藤久次郎）

2月27日　＜鯖釣山＞
故・城戸剛会員追悼登山
ビジター　上 野　太

鯖釣山山頂　（写真：伊藤久次郎）

ビジター参加・糸島の上野と申します。
昨年、城戸剛会員に連れられビジター参加しておりましたので、追悼登山の案内を頂き参加させて頂きました。
集合場所へ行くと20人を超える会員さんが集まっておられてチョットびっくり。　山行の説明を受けて、さあ登山口まで車移動出発となると皆さんトイレへ‥‥またびっくりですね。登山口で自己紹介して持ってきた城戸さんをプリントしたTシャツを披露しリュックに被せて一緒に歩きました。
鯖釣山は椿の群生地で赤い花とピンク色の花が青空とコラボして綺麗でした。低山ですが周りの山並みや響灘の景色がとても良い眺めでした。今回は鯖釣山へは行かず湯玉城山へ登って山頂でTシャツにお花を供えて追悼して皆さんで記念撮影して下山しました。
お昼ご飯のお店が予約出来ないので急ぎましょうとリーダーが言われますが皆さんマイペースで面白いですねー！お店に着いて24人も大丈夫かなと心配になりましたが、無事全員座れてウニ丼を美味しく頂きました。
食後は土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムで弥生時代の不思議を勉強して解散となりました。今回も楽しいひと時を皆さんと過ごす事が出来ありがとうございました。
追悼登山の様子は城戸さんの奥様に報告致しました。山岳会の皆様に感謝の意を伝えて下さいとの事でした。

城戸さん（Tシャツ）も共に登る　（写真：太郎良嘉親）

参加者24人　会員：園川陽造　原広美（CL）
伊藤久次郎　井上禮子　高畠拓生　関口興洋
丹下洽　丹下香代子　竹本正幸　竹本加代子
奥田スマ子　中畑智子　　準会員：藤原玲子
太郎良嘉親　　支部友：立石シマ子
宇都宮美智子　星出清美　里耕三郎
竹中信江　米沢眞智子　田中真一　田中優子
三浦義人　　ビジター：上野太

追悼 城戸剛君を偲んで

14264　丹下　洽

私が城戸君に会ったのは、平成３１年４月21日第20回通常総会でした。第一印象は明朗快活、ユーモアを解しチョット頑固。4月25日ポレポレ山行「花尾山」。初めて訪れた東行庵に興味を持った様でした。「おもしろき　ことのなきも世に　おもしろく」高杉晋作の辞世の句です。後日どなたかが「すみなすものは　心なりけり」と下の句をつけ和歌にしたとも聞きます。彼の短かった人生も・・・。

支部報89号に彼の寄稿した花尾山の感想文があります。彼らしいユーモアのある一文です。

令和元年5月12日英彦山清掃登山。彼は公益事業にも関心があり、熱心にゴミを集めバイオトイレの使用済みチップを２ツ背負って頑張ってくれました。そして、膝を痛めている私の荷物も奉幣殿まで取りに来てくれました。感謝！！

６月６日ポレポレ山行「扇ケ鼻」好天に恵まれ満開のミヤマキリシマに満足そうでした。扇ケ鼻頂上の巨岩の上を身軽に飛び歩いていた姿が目に浮かびます。７月１１日ポレポレ山行「城山」へ。ウスキキヌガサタケ、タマゴタケに出会い大変喜んでいました。又、ボランティアガイドによる赤間宿の説明に聞き入っていました。この山行に関しては、城戸さんのご友人でビジター参加の上野太さんの寄稿が支部報９０号に掲載されております。次の山行「南阿蘇バスハイク」に参加予定でしたが、体調不良の為欠席との連絡がありこれが最後となりました。

彼には十分な能力があると感じ、本部会員入会を打診したところ快諾を得ました。「本部会員　16526」活躍の機会は訪れませんでした。残念至極です。短い期間に忘れることの出来ない印象を残して逝きました。2月27日にポレポレ山行を追悼登山として歩きます。

「さようなら」「ありがとう」を、心を込めて・・・合掌

仮想登山・若きウエストン姿の城戸さん　（写真：町元里香）

ありし日の城戸剛さんを偲んで

北九州支部の山行や研修に参加した懐かしい活動の様子です。

岩登り教室 宙吊りからの脱出訓練　（写真：竹本正幸）

ポレポレ山行 扇ケ鼻山頂の岩の上　（写真：花田拓二）

ポレポレ山行 扇ケ鼻　（写真：花田拓二）

令和2年1月12日
「第3回指導員研修会」報告

15806　清家幸三

指導員研修　かぐめよし少年自然の家　（写真：三浦利夫）

第3回「指導員研修会」報告
・日　　時　令和2年1月12日16時00分～13日15時00分
・場　　所　かぐめよし少年自然の家　小倉南区頂吉
・内　　容
【１日目】
1 第2回指導員研修会の復習 18時00分～20時00分
前回、皿倉山の国見岩でのレスキューを3班に分けて実施した内容を、各班がレポートを作成して、その内容を質疑応答してコンセンサスを取りまとめる。
今後の研修会の資料として残す。
2 園川講師の講評　20時00分～21時00分
【２日目】
1　検定試験 8時40分～9時40分
最初に、筆記試験を実施する。今回受験者は2人（縄手修、清家幸三）　他の会員も参加する。
2　実技試験 0時30分～昼食をはさみ14時30分
体育館に移り、クライミングボードを使って、内容は2人１組で宙吊りになった人を安全な場所へ引き寄せる。
受験を受けない人は同じ内容で実技研修を行う。
3　論文試験は“山岳指導員として一般会員への対応についてサブテーマを掲げて論ぜよ”（1000文字以内）
1月25日必着で園田陽造講師宅へ郵送する。
検定試験の結果は4月の総会時に発表。
15時00分解散

参加者10人　講師 園川陽造　竹本正幸
竹本加代子　縄手修　三浦利夫　森義雄
町元里香　赤瀬栄吉　奥田スマ子
清家幸三（CL）

２月９日）第４回山岳専科　（消防署で講習会）
「レスキュー・救出救護」

門司消防署老松分の皆さんと　（写真：竹本正幸）

2月9日、天候、曇り。門司消防署老松分署で講習会が行われました。参加者は、女性7人、男性14人（園川顧問を含む）合計21人です。9:45老松分署駐車場に集合。三浦CLあいさつの後、屋内講習会場へ移動。10:05老松分署の大津様（講師）よりあいさつがあり、遭難件数、死亡・行方不明および負傷者は年々増加傾向にあるという内容に先ず触れました。講習は、下記4項目の内容で進められました。
◇登山時の事故発生から一連の処置
事故が発生した場合の緊急通報方法で、携帯所持、バッテリー充電、および110番・119番通報は元より、指令センターに伝える際の内容に注意するようにと説明がありました。
「いつ」「どこで」「誰が」「どのようにして」「なぜ（滑落、　落石など）」、「どうなった（足の骨折、捻挫、出血など）」の内容を明確に伝えること。
◇応急処置
負傷具合の確認の際、何を（何処を）一番注意深く観察しなければならないか、注意が必要。他に装備の確認、負傷者手当、対応者等役割分担といったことが重要になります。
◇救助要請
位置情報の精度、GPS機能による違い。
現在位置を確認するためのGPSは、無料の「YAMAP」、「ジオグラフィカ」、「Googleマップ」、「iPhone」、有料の「山と高原地図」、「ココヘリ」がある。
通報方法の重要な点は、GPS機能で緯度、経度を確認するということです。
◇レスキュー救出救護方法等
先ず、その場に居る登山者が自分たちの身を守りつつ、その場で自分たちが出来る最善の対処をすることです。
骨折の処置は、無理に動かさずに添え木を使用します。
このときに二関節以上を固定することが重要だそうで

す。基本はDIP、「D」は動揺、「I」は痛み、「P」はアツレキ　と覚えておくとよいそうです。
成人男子で体重60㌔、全血液量 4,800mlを基準にした場合、20%（１㍑）を失うと生命の危機となります。
骨折（疑いを含む）の固定法、三角巾固定法、止血法や感染防止、そして傷を心臓より高くすること。
「それきみこ」って、なに？　「ショックの５P兆候」。「そ」蒼白、「れ」冷汗、「き」虚脱、「み」脈拍触知不能、「こ」呼吸不全という内容を覚えやすくするための語呂合わせです。しっかり覚えておかなければなりません。
訓練実演
11:18搬送方法
　一人法、二人法、テープスリング（120㌢）を使用しての背負い搬送法、担架搬送法。
　安全確保（今居るところは安全か）を確認する。
　簡易的な方法による担架の作成。
11:45 搬送の実演訓練。
　駐車場の訓練展示場にて、救助隊による山岳救助訓練（7㍍下の崖に転落を想定）が行われました。隊員は4人。　事故者と上からの応答を繰り返します。
12:00引上げ開始
12:01 引上げ完了
　終了です。
　実際その場になったときのことを考えると、正直不安　を感じました。だからこそ、万一の事態に備えた対処法　を知っておく事は大切だと思います。
遭難事故は、残念ながら遭うのはシニア世代が多く、６０歳代以上で５割を占めると言われています。自分の体力の低下を自覚し、準備と対策をとることが欠かせないと思います。必要な知識は当然ですが、有効なのはまず筋力トレーニングかと思います。リスクを適切に判断し、安全な登山を常に心掛けなくてはならないと強く感じました。
　三浦CLはじめ講習会をお世話くださった方々、ありがとうございました。

門司消防署老松分署隊員の実演　写真：竹本正幸

参加者　２１人　（講師）園川陽造　会員：　井上禮子
馬場基介　三宅清和　　関口興洋　丹下洽　榊俊一
丹下香代子　大内喜代子　竹本正幸　竹本加代子
赤瀬栄吉　森本信子　縄田正芳　縄手修
三浦利夫（CL）　町元里香　清家幸三　花田拓二
支部友　：　網塚陽子　宇都宮浩

このページの新聞切り抜きは、毎日新聞社の許可を受けて掲載しました。　（複写して他の用途に使用しないでください。）

地域　2020年(令和2年)2月11日(火)　毎日新聞

山でSOS 対処方法学ぶ 門司

日本山岳会北九州支部の会員ら

応急処置の際に使う三角巾の使い方を学ぶ

「日本山岳会北九州支部」（日代洋則支部長、約120人）の会員らが登山の基本技術を学ぶ講習会、「山岳救助科」が9日、門司区の門司港駅裏広場で開かれ、講師の登録者ら30人が緊急時の連絡の仕方やけがの応急処置について学んだ。

地元の小学生が登山をする際のサポートなどに取り組む同支部が会員の安全対策などのために開いている。この日は同消防署老松分署の隊員4人が、山岳救助訓練（7㍍下の崖に転落を想定）を実演。隊員が救助隊と上からの応答を繰り返しながら、負傷者を引き上げる様子を見せた。

同支部の竹本正幸副支部長（70）は「こうした訓練や経験はいざというときに役立つ。多くの人に集まってもらいたい」と話した。【下原知広】

◆特別山行の案内・登山申し込み等は
　ホームページでも、ご案内しています。

　ホームページのアドレス
　　http://jac-kitakyushu.jp/
　ホームページは身近なものです。

　年間計画や月例山行などは
　ホームページ　から 申し込みができます。
　ホームページ開設に伴い、
　「登山計画書」の 提出先は下記へ、
　（変更となっています）
　anzentozan@jac-kitakyushu.jp

＜お知らせ＞　行事 ・ 山行 ・ 計画

5　月

●英彦山清掃登山のお知らせ

英彦山登山道周辺の清掃活動を当支部主催で行います。
会員の皆様のご協力、ご参加をお願いします。

1 日　　時 ： 令和2年5月24日（日）午前9時から
2 集合場所 ： 英彦山鷹巣原駐車場
3 当日の計画概要
　9：00　鷹巣原駐車場集合　参加団体受付、人数確認、ゴミ袋の配布。
　9：30　各団体、各人希望で　①正面コース　②北岳コース　③北西尾根コースに分かれて、ゴミを拾いながら登山開始。
　12：00　中岳山頂到着後昼食、
　12：30　中岳山頂周辺、むすび神社周辺のゴミ回収。
4 下山後のゴミ集積場所　別所駐車場トイレ横のゴミ置き場へ
　後は自由解散（自然保護委員は残りその後の対応にあたる）。
5 携行品　昼食、ゴミはさみ、軍手、背負子（2ケ）、紐
　※ 森林保全巡視員は腕章持参
　※ ゴミ袋は添田町役場から提供あり
6 申込み　奥田スマ子　080-8589-0903
7 締切り　：5月14日（木）

●英彦山山開き 〈雨天決行〉

主　　催　添田町観光協会
リーダー　CL 三浦利夫　SL 赤瀬榮吉
1 期　　日　5月30日(添田町観光協会土)～31日(日)
2 場　　所　英彦山
3 行　　程　30日(土)前夜祭（英彦山青年の家宿泊）
　31日(日)山頂で山開き神事
　（登山ルートは後日決定）
4 集合場所　英彦山青年の家
5 前夜祭参加者　30日(土)15：30 集合
　当 日 参加者　31日(日) 8：30 集合
6 参加費用　1,870円（宿泊者のみ）
　（内訳 夕食750円 朝食450円 弁当420円 ｼｰﾂ代250円）
7 申 込 み　三浦利夫　携帯 090-2850-6020
　ホームページまたはSMSにて、必要事項を明記の上お申し込み下さい。
　（会員番号 氏名 住所 携帯電話番号 緊急連絡先・続柄・携帯電話番号）
8 締 切 り　前夜祭参加者　4月18日(土)
　当 日 参加者　5月9日(土)
※ 前夜祭に参加される方は、「英彦山青年の家」を利用しますので、1ヶ月前までの申し込が必要なため、早めの締切りとさせていただきます。

6　月

●三俣山　ミヤマキリシマ鑑賞

1 日　　時　令和2年6月14日
2 集合場所　長者原駐車場　8時30分
3 申し込み　清家幸三　090-8664-4411
　又はSNSにて
4 締め切り　5月20日（水）

●岩登り教室（初級）

リーダー　竹本正幸
1 期　　日　6月6日（土）
2 集合場所　陶ケ岳登山口　８時30分集合
3 場　　所　陶が岳（山口市）
4 行　　程　集合後陶ケ岳岩場に移動し岩登り練習
　(9時00分～14時00分)
5 個人装備　一般装備　昼食　飲料水　その他
　ヘルメット　ハーネス　カラビナ
　スリング　エイトカン　確保器
　クライミングシューズ
　(装備がそろわない方はご相談ください)
6 共同装備　ロープ（50ﾒｰﾄﾙ×２本）
7 申し込み　竹本正幸　090-6739-9251
　申し込みはSMSでお願いします。
8 締め切り　5月23日（土）

7　月

●屋久島　縦走テント泊

洋上アルプス「屋久島」を縦走しませんか。

1 期　　日　7月23日（木）～25日（土）
2 集　　合　鹿児島本港南埠頭
3 集合時間　23日 9時30分
4 日　　程
　23日　10時20分発高速船に乗船、安房着後タクシーにて淀川登山口へ
　淀川登山口～淀川小屋　（テント泊）
　24日　淀川小屋～花之江河～宮之浦岳～新高塚小屋（テント泊）
　25日　新高塚小屋～縄文杉～荒川登山口～タクシーにて宮之浦港～15時40分高速船乗船～18時40分鹿児島着
　（黒味岳、永田岳は希望者のみ登山）
5 装　　備　テント泊装備　食糧6食分
　その他登山装備
6 申し込み　塚本久嘉　090-7475-6084
　ホームページ又はＳＭＳで申し込む。
7 定　　員　６人
8 費　　用　約23,000円（高速船、タクシー代）
9 締 切 り　5月31日（日）
10そ の 他　高速船は各自で予約する事、（予約センター　℡099-226-0128）
（23日9時30分鹿児島発、25日15時40分屋久島発）

ご協力 ・ お願い

●英彦山山頂トイレ清掃

北九州支部の皆様、ご協力お願いします。
当支部の掃除当番は、下記の通りです。

1 日　　程　① 4月22日(水)
　② 6月3日（水）
　③ 7月15日(水)
　④ 8月26日(水)
2 集合場所　別所駐車場　９時00分集合
3 参加できる方は、１週間前にお申し込みください。
4 申 込 み　奥田スマ子　080-8589-0903

ポレポレ山行

ポレポレ会で・・・
野の花を愛で、史跡をめぐり、
その土地のおいしい料理を食べ、
のんびり山歩きを楽しみませんか！！

●ポレポレ山行

① 4月19日（日）　等覚寺　　松会（修験道の儀式）
② 5月21日（木）　求菩提山　ヒメシャガ
③ 6月14日（木）　南阿蘇ビジターセンター　ハナシノブコンサート
④ 7月16日（木）　平尾台　天体観測（夏の星座）
⑤ 8月16日（日）　風師山・矢筈山　「山の日」家族登山
⑥ 9月17日（木）　万年山　夏の野の花　マツムシソウ　ユウスゲ

※ 集合時間や行程についての問い合せ先
丹 下　洽　　090-3732-8843

本の紹介

書籍紹介
阿南誠志著　「自然と共に」
14264　丹 下　洽

書籍名　「自然と共に」
著　者　阿南誠志
概　要　人生変えた15歳の久住登山、
　自然と共に育ち、共に生きる「共育・共生」
住　所　阿蘇くじゅう高原ユースホステル
　〒869-2400
　熊本県阿蘇郡南小国町大字満願寺６３３２
　電話 0967-44-0157　FAX 0967-44-029

◆

この本の著者は、瀬の本高原近くでユースホステルのオーナー（ペアレント）として、ご夫婦で運営されています。久住高原や黒川温泉にも近く、とても便利です。
また、利用しやすい料金、奥様手作り料理でのおもてなしは心温まります。
昨年の春、ミヤマキリシマ・ポレポレ山行で利用させていただきました。（追記 花田拓二）

会務報告

令和２年１月定例役員会

事務局

1 日　時　令和２年１月7日(火)　18時から

2 場　所　当支部ルーム（毎日西部会館１F)

3 出席状況

出席者　日向祥剛　馬場基介　関口興洋　丹下洽
丹下香代子　竹本正幸　榊俊一　赤瀬栄吉
縄田正芳　塚本久嘉　縄手修　奥田スマ子
町元里香　小林英世　清家幸三　花田拓二

欠席者　なし

4 議　題

(1) 会員の異動状況(総務委員長報告)

①新入会員　通常会員　―
準 会 員　―
支 部 友　北九525　太宰聖志
北九526　小畑止

②退 会 者　通常会員　―
準 会 員　―
支 部 友　1人

③通常会員　66人　準会員　4人　支部友　43人
会友 4人　合計 117人　(2020.1.7現在)

(2) 会費納付状況（未納者)

通常会員　2人　　支部友　3人

JAC北九だよりの送付時に請求書を同封する。

(3) 山行・行事報告

・ 11月7日(木)　延永小学校英彦山登山サポート
(6人要請)
・11月7日(木)　定例役員会　(15人)
・11月10日(日)　国見岳　(10人)
・11月14日(木)　西叡山・髙山寺(六郷満山)(18人)
・11月20日(水)　英彦山山のトイレ　(6人)
・11月24日(日)　国東ロングトレイル中止
・12月1日(日)　第３回山岳専科　(11人)
・12月7日(土) ～8(日)　年次晩餐会　(3人)
参加 日向 関口 縄田　※新入会員に参加を促す。
・12月14日(土)～15日　(忘年の集い・山行・八面山)
(27人)
・1月1日(水)　英彦山山のトイレ清掃　中止
・1月5日(日)　英彦山新春登山　(19人)
・1月7日(火)　定例役員会　(16人)

（4） 山行・行事計画

・1月12日(日) ～13日 (月)　第３回指導員研修会
かぐめよし少年自然の家
・1月26日(日)　立石山
・2月6日 (木)　小倉サロン
・2月9日(土)　第４回山岳専科 門司消防署
・2月12日(水)　英彦山山のトイレ
・2月13日 (木)　博多サロン
・2月15日(土)～16日(日)　広島支部との交流会
・2月16日(日)　英彦山滝巡り　(中止)
・2月23日(日)　三俣山
・3月1日(日)　仰烏帽子山　(中止)
・3月7日(土)～8日(日)　第４回指導員研修
・3月15日(日)　福智縦走
・3月20日(金祝)　若杉山(森林巡視活動　巨木巡り
・3月25日(水)　英彦山山のトイレ清掃

(5) ポレポレ会

・1月 9日(木)　御許山(立石・豊後高田)初詣
・2月27日(木)　鯖釣山(山口県豊浦)
・3月26日(木)　六ケ岳(中間・直方)ｼｮｳｼﾞｮｳﾊﾞｶﾏ

5　審議事項

(1) 20周年記念行事について

役割分担は別紙参照

① 20周年記念誌を発行するか。

来年は8月10日に山の日全国大会が九重で開催される。

それに宮崎で5月に全国支部懇談会もあり、記念誌の発行を含め行事は2021年に執り行う。

記念誌は発行する。記念誌発行準備会を竹本、榊、太郎良、町元、縄手、森のメンバーで立ち上げる。伊藤顧問にも相談役として要請する。ほかの役員全員が協力することを申し合わせる。

記念誌の内容は仰々しくなくて良い。最近の情報を中心に考える。若い世代の参加を考える。他支部の記念誌を参考にする。

②槇有恒碑前祭は通年行事として進める。本部要人への案内をするが、交流費用については本部でお願いする。本年は10月25日に実施する。。

③特別記念山行は下記の通りで2020年に実施する。

海外記念登山　台湾玉山　10月下旬から11月初め頃、三宅明子が資料を収集する。
4泊5日でおおよそ20万円程度
参加人数は15人から16人程度

国内記念登山　槍ヶ岳集中登山
8月20日～27日
計画案は別紙参照

登山に不参加の会員は別途計画する。

(2) 支部入会のご案内修正版　・現在のパンフレットを来年3月まで使用する。修正分は来年4月からになる。

(3) 全国支部合同会議(支部長、事務局長)の連絡事項

① 会員名簿配布の問題
② 登山計画書の住所等の問題
③ 会員名簿の保管

④ 家族登山の全国ネットワーク構築(今後構築)
⑤ 準会員の役員就任問題
　支部長以外の役員は就任可能になる。よって規約の改定を要する。
⑥ 廃ロープ提供のお願い
　本部に提供する。60mで20足のサンダルになる。
⑦ 立山でのテント盗難問題
　2人から3人用が盗難される。
⑧ 宮崎全国支部懇談会のご案内
　2020年5月16から17日に実施.
　１月１0日締め切り。榊事務局長まで。
　参加費用は20,000円。双石山山行。
(4) 役員の報告、提案事項

※ 次回役員会　3月4日

サロンのご案内

会員の交流・情報交換の場として、 開催しています。
新入会員の方も、どうぞ、お気軽にご参加ください。

●小倉サロンのおさそい

日　時　令和2年6月4日（木）17時30分～20時00分22
場　所　ルーム
3 内　容　山岳、及び自然環境に関する読書会
　　その後、懇談会
4 会　費　１,000円程度
5 申込み： 清家幸三　090-8664-4411
　　電話またはSNSにて

●　博多サロンのおさそい

1　日　時 5月１４日（木）１８時30分から
2　場　所 ぶあいそ博多築紫口店
3　会　費 ３,85０円（食べ飲み放題）
4　申込み 赤瀬榮吉　090-7475-9748
5　締切り 5月７日（木）

●会員の異動および会員数

＜新入会員＞（令和２年１月～令和２年３月）
◦北九５２７　三浦　義人　福岡市城南区入会

＜退 会 者＞（令和２年１月～令和２年３月）
・11459　藤田　優　下関市　無所属
・16526　城戸　剛　福岡市東区　物故
・11977　溝部　忠増　宗像市　物故
・北九205　江田　光次　田川郡川崎町　退会
・北九480　坂田　菊恵　小倉北区　退会
・北九481　平野　和則　小倉南区　退会
・北九493　山口得知代　田川市　退会

＜会員数＞(R2年3月31日現在)　113人
通常会員64人　支部友41人　準会員4人
会友4人

編集後記

3K(高齢化・高度情報化・国際化)と言われて久しいが、今度ばかりは身につまされます。瞬く間に広がっていった新型コロナウイルスの感染は脅威です。どの国も、規制や自粛を迫られ、窮屈な思いです。先日まで、子どもたちはかごの鳥でした。　北九州支部総会も講演を取りやめる自粛決定されました。先の見えない状況は、まさに、息が詰まる思いです。　亀仙人　「濁れる水の　流れつつ　澄む」　山頭火

居酒屋
「コール天」
●場所：小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
TEL:093-522-0565
ＪＲ鹿児島本線 小倉駅南口から
※中央銀天街方面に向かい徒歩5分
※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています